通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド
－イーグルアイⅡ－
予想分配金提示型
日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース

運用報告書（全体版）
満期償還
（償還日　2023年８月28日）

（作成対象期間　2023年５月30日～2023年８月28日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<5770>
<5771>
<5772>
<5773>
<5774>

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年８月20日～2023年８月28日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ．ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」（以下「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（※１）」といいます。）の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※１）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス 「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス 「ブラジル・レアル・コース」の場合……ブラジル・レアル・クラス 「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス 「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ．およびロ．に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ．計算期末の前営業日の基準価額（１万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ．計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（１万口当り）を分配することをめざします。 ａ．10,500円以上11,000円未満の場合…300円 ｂ．11,000円以上11,500円未満の場合…350円 ｃ．11,500円以上12,000円未満の場合…400円 ｄ．12,000円以上12,500円未満の場合…450円 ｅ．12,500円以上の場合……500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

◇SUZ0577020230828◇

日本円・コース

最近10期の運用実績

決　算　期	基準価額			S＆P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
31期末(2021年5月28日)	12,996	500	12.6	28,443	10.5	—	98.8	315
32期末(2021年8月30日)	12,703	500	1.6	30,605	7.6	—	98.8	306
33期末(2021年11月29日)	11,692	450	△ 4.4	31,257	2.1	—	98.4	283
34期末(2022年2月28日)	11,210	350	△ 1.1	29,904	△ 4.3	—	98.1	276
35期末(2022年5月30日)	9,972	0	△ 11.0	28,438	△ 4.9	—	95.8	244
36期末(2022年8月29日)	9,582	0	△ 3.9	27,827	△ 2.1	—	95.5	223
37期末(2022年11月28日)	9,558	0	△ 0.3	27,697	△ 0.5	—	99.1	222
38期末(2023年2月28日)	9,547	0	△ 0.1	27,481	△ 0.8	—	95.5	204
39期末(2023年5月29日)	9,668	0	1.3	29,108	5.9	—	99.5	191
償　還(2023年8月28日)	10,699.02	—	10.7	30,577	5.0	—	—	139

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
※参考指数を「S＆P500指数（配当込み、米ドルベース）」から「S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）」に変更しました。

S＆P500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S＆P®、S＆P500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX® は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S＆P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　日本円・コースは、SPDJI、Dow Jones、S＆P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S＆P500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

運用経過

基準価額等の推移について

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：10,699円02銭（既払分配金7,350円）
騰落率：106.2%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

設定以来の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことなどが主な要因となり、上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

年　　月　　日	基準価額		S&P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2023年5月29日	9,668	—	29,108	—	—	99.5
5月末	9,692	0.2	29,110	0.0	—	99.5
6月末	10,137	4.9	30,462	4.7	—	99.1
7月末	10,710	10.8	31,770	9.1	—	—
（償還）2023年8月28日	10,699.02	10.7	30,577	5.0	—	—

（注）騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、ＦＲＢの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。８月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やＡＩ（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■短期金利市況

日銀は、いわゆる異次元の金融緩和のため2016年１月よりマイナス金利を導入し、それ以降短期金利はマイナス圏で推移しました。

一方ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2. 25～2. 50％に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて0. 00～0. 25％に引き下げました。2021年末以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受けてインフレ圧力が高まる中、2022年３月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5. 25～5. 50％まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」（※１）と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。

主として、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※２）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替ヘッジを行い、信託財産の成長をめざします。

※１　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

※２　当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）をいいます。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

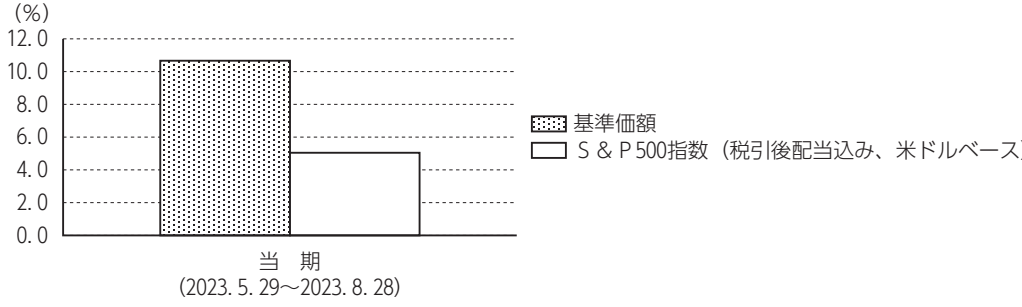
株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期～第3期各300円、第4期350円、第5期～第7期各300円、第14期350円、第15期～第17期各300円、第18期350円、第20期300円、第25期300円、第28期300円、第29期400円、第30期～第32期各500円、第33期450円、第34期350円の収益分配を行いました。

なお、第8期～第13期、第19期、第21期～第24期、第26期～第27期、第35期～第39期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

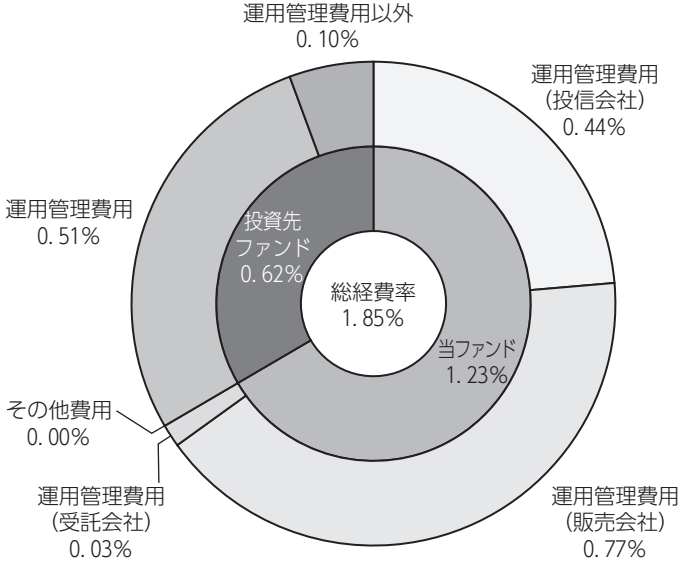
項　　目	当　期 (2023. 5. 30～2023. 8. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	32円	0. 308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 339円です。**
(投 信 会 社)	(11)	(0. 109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0. 191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合　　計	32	0. 308	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.85%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	—	—	1,000.56179	210,869

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS（ケイマン諸島）	1,000.56179	210,869	210

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	第39期末
	口数
	千口
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年８月28日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	140,559	100.0
投資信託財産総額	140,559	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 8 月28日現在

項　　目	償　還　時
（A）資産	**140, 559, 950円**
コール・ローン等	140, 559, 950
（B）負債	**586, 279**
未払解約金	11, 456
未払信託報酬	574, 600
未払利息	223
（C）純資産総額（A－B）	**139, 973, 671**
元本	130, 828, 472
償還差損益金	9, 145, 199
（D）受益権総口数	**130, 828, 472口**
１万口当り償還価額（C／D）	**10, 699円02銭**

＊当作成期首における元本額は197, 827, 121円、当作成期間中における追加設定元本額は103円、同解約元本額は66, 998, 752円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は10, 699円02銭です。

■損益の状況

当期　自 2023年 5 月30日　至 2023年 8 月28日

項　　目	当　　期
（A）配当等収益	△ **8, 451円**
受取利息	1, 300
支払利息	△ 9, 751
（B）有価証券売買損益	**14, 071, 508**
売買益	15, 177, 252
売買損	△ 1, 105, 744
（C）信託報酬等	△ **574, 600**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**13, 488, 457**
（E）前期繰越損益金	△ **6, 343, 477**
（F）追加信託差損益金	**2, 000, 219**
（配当等相当額）	(4, 725, 178)
（売買損益相当額）	(△ 2, 724, 959)
（G）合計（D＋E＋F）	**9, 145, 199**
償還差損益金（G）	**9, 145, 199**

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月28日		資産総額	140,559,950円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	586,279円
				純資産総額	139,973,671円
受益権口数	3,575,824,989口	130,828,472口	△3,444,996,517口	受益権口数	130,828,472口
元本額	3,575,824,989円	130,828,472円	△3,444,996,517円	1単位当り償還金	10,699円02銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	3,215,627,047	3,377,684,795	10,504	300	3.00
第2期	2,887,393,913	2,980,395,443	10,322	300	3.00
第3期	2,594,473,438	2,674,332,928	10,308	300	3.00
第4期	2,081,018,710	2,236,889,301	10,749	350	3.50
第5期	1,825,339,009	1,942,457,883	10,642	300	3.00
第6期	1,705,617,147	1,776,686,017	10,417	300	3.00
第7期	1,523,180,426	1,581,258,701	10,381	300	3.00
第8期	1,430,017,732	1,296,352,447	9,065	0	0.00
第9期	1,259,269,918	1,184,965,008	9,410	0	0.00
第10期	1,125,399,409	925,372,885	8,223	0	0.00
第11期	1,037,760,578	937,200,124	9,031	0	0.00
第12期	910,233,476	862,691,843	9,478	0	0.00
第13期	745,074,697	755,454,423	10,139	0	0.00
第14期	627,047,600	672,913,674	10,731	350	3.50
第15期	589,630,180	622,577,178	10,559	300	3.00
第16期	535,568,812	564,818,791	10,546	300	3.00
第17期	504,683,514	527,142,177	10,445	300	3.00
第18期	404,534,628	432,861,996	10,700	350	3.50
第19期	403,310,184	413,195,186	10,245	0	0.00
第20期	402,723,511	423,359,489	10,512	300	3.00
第21期	387,831,049	365,565,892	9,426	0	0.00
第22期	377,124,257	381,922,935	10,127	0	0.00
第23期	333,962,602	328,923,187	9,849	0	0.00

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第24期	322,870,321	311,237,230	9,640	0	0.00
第25期	304,099,977	318,714,605	10,481	300	3.00
第26期	279,150,451	275,284,473	9,862	0	0.00
第27期	272,836,900	261,706,498	9,592	0	0.00
第28期	272,842,927	283,338,136	10,385	300	3.00
第29期	251,823,580	285,053,294	11,320	400	4.00
第30期	248,101,055	297,379,905	11,986	500	5.00
第31期	243,022,593	315,824,947	12,996	500	5.00
第32期	241,293,516	306,514,550	12,703	500	5.00
第33期	242,715,822	283,793,750	11,692	450	4.50
第34期	246,514,566	276,336,707	11,210	350	3.50
第35期	245,272,274	244,595,313	9,972	0	0.00
第36期	233,166,739	223,417,703	9,582	0	0.00
第37期	232,671,642	222,386,224	9,558	0	0.00
第38期	214,285,604	204,581,446	9,547	0	0.00
第39期	197,827,121	191,259,632	9,668	0	0.00

（注）1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	10,699円02銭

豪ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
31期末(2021年5月28日)	14,333	500	15.9	28,443	10.5	85.08	3.1	—	99.0	143
32期末(2021年8月30日)	13,231	500	△ 4.2	30,605	7.6	80.25	△ 5.7	—	98.3	133
33期末(2021年11月29日)	12,218	500	△ 3.9	31,257	2.1	81.19	1.2	—	98.7	112
34期末(2022年2月28日)	12,074	400	2.1	29,904	△ 4.3	82.95	2.2	—	97.6	110
35期末(2022年5月30日)	11,228	350	△ 4.1	28,438	△ 4.9	91.02	9.7	—	97.8	101
36期末(2022年8月29日)	10,898	400	0.6	27,827	△ 2.1	94.93	4.3	—	97.6	93
37期末(2022年11月28日)	10,449	300	△ 1.4	27,697	△ 0.5	93.46	△ 1.5	—	97.1	91
38期末(2023年2月28日)	10,243	0	△ 2.0	27,481	△ 0.8	91.90	△ 1.7	—	94.1	76
39期末(2023年5月29日)	10,400	0	1.5	29,108	5.9	91.88	△ 0.0	—	96.2	77
償還(2023年8月28日)	12,051.89	—	15.9	30,577	5.0	94.11	2.4	—	—	62

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
※参考指数の「S＆P500指数（配当込み、米ドルベース）」を「S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）」に変更しました。

S＆P500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S＆P®、S＆P500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX® は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S＆P」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　豪ドル・コースは、SPDJI、Dow Jones、S＆P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S＆P500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

運用経過

基準価額等の推移について

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：12,051円89銭（既払分配金7,990円）
騰落率：139.1%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

設定以来の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことなどが主な要因となり、上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

年　　月　　日	基準価額		S＆P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	円	%	%	%
(期首)2023年5月29日	10,400	—	29,108	—	91.88	—	—	96.2
5月末	10,393	△0.1	29,110	0.0	91.07	△0.9	—	96.2
6月末	11,492	10.5	30,462	4.7	95.77	4.2	—	99.1
7月末	12,065	16.0	31,770	9.1	93.96	2.3	—	—
(償還)2023年8月28日	12,051.89	15.9	30,577	5.0	94.11	2.4	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、ＦＲＢの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。８月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やＡＩ（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■為替相場

豪ドルは対円でおおむね横ばいとなりました。

豪ドル対円為替相場は、当ファンド設定時から2016年前半にかけて、中国景気の減速懸念や鉄鉱石などの商品市況の下落などを受けて下落しました。その後は、オーストラリア総選挙における与党の勝利などを受けて堅調に推移しました。2018年に入ってからは、米中貿易摩擦への懸念やＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）による利下げなどを受けて下落しました。2020年初めは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて急落しましたが、その後は、ワクチン接種の進展を受けた経済活動の正常化などが支援材料となり、対円で上昇基調となりました。しかし、2022年12月に日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の長期金利の上限引き上げを実施したことなどから円高が進み、豪ドルは軟調に推移しました。償還にかけては日豪の金利差拡大を受け、豪ドルは上昇しました。

■短期金利市況

ＲＢＡ（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を段階的に2.50％から0.10％まで引き下げた後、2022年５月以降は金融引き締め姿勢を強め、段階的に4.10％に引き上げました。

一方ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2.25～2.50％に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて0.00～0.25％に引き下げました。2021年末以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受けてインフレ圧力が高まる中、2022年３月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25～5.50％まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」（※１）と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。

主として、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※２）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行い、信託財産の成長をめざします。

※１　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

※２　当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）をいいます。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて （2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

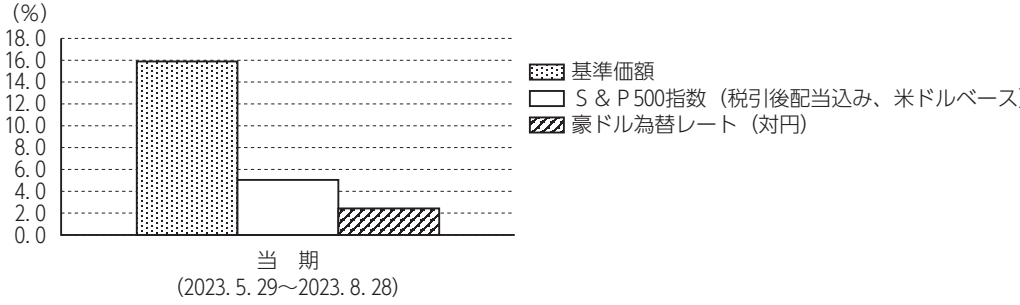
株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

１万口当り、第１期350円、第２期300円、第３期350円、第４期450円、第５期500円、第６期350円、第７期400円、第８期～第９期各40円、第10期～第12期各30円、第13期20円、第14期300円、第16期～第17期各300円、第18期350円、第29期400円、第30期～第33期各500円、第34期400円、第35期350円、第36期400円、第37期300円の収益分配を行いました。

なお、第15期、第19期～第28期、第38期～第39期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

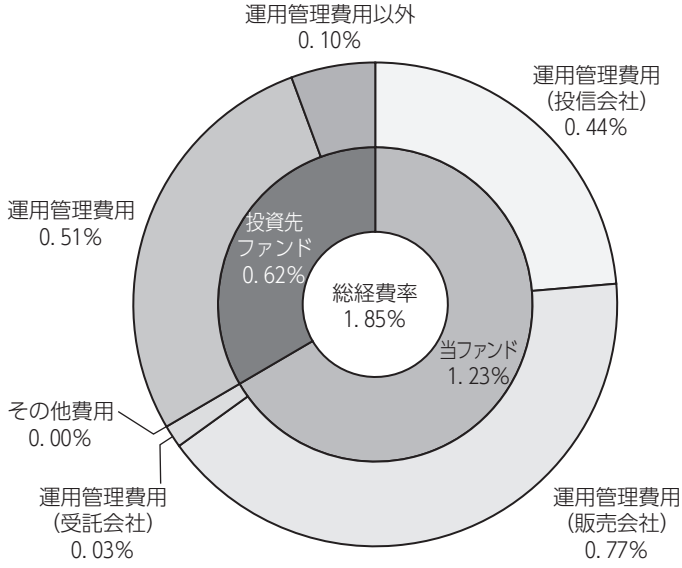
項　目	当　期 (2023. 5. 30～2023. 8. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	36円	0. 308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11, 597円です。**
(投 信 会 社)	(13)	(0. 109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0. 191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合　　計	36	0. 308	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85％です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.85%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	12.68463	2,220	430.51007	88,832

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	200	200

（注）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	12.68463	2,220	175	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS（ケイマン諸島）	430.51007	88,832	206

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	第39期末
	口数
	千口
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	200

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年８月28日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	62,451	100.0
投資信託財産総額	62,451	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 8 月28日現在

項　　目	償　還　時
（A）資産	**62, 451, 678円**
コール・ローン等	62, 451, 678
（B）負債	**247, 783**
未払信託報酬	247, 684
未払利息	99
（C）純資産総額（A－B）	**62, 203, 895**
元本	51, 613, 374
償還差損益金	10, 590, 521
（D）受益権総口数	**51, 613, 374口**
１万口当り償還価額（C／D）	**12, 051円89銭**

＊当作成期首における元本額は74, 240, 916円、当作成期間中における追加設定元本額は96円、同解約元本額は22, 627, 638円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は12, 051円89銭です。

■損益の状況

当期　自 2023年 5 月30日　至 2023年 8 月28日

項　　目	当　　期
（A）配当等収益	△ **3, 717円**
受取利息	684
支払利息	△ 4, 401
（B）有価証券売買損益	**8, 775, 219**
売買益	8, 890, 039
売買損	△ 114, 820
（C）信託報酬等	△ **247, 684**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**8, 523, 818**
（E）前期繰越損益金	△ **63, 529**
（F）追加信託差損益金	**2, 130, 232**
（配当等相当額）	(4, 898, 532)
（売買損益相当額）	(△ 2, 768, 300)
（G）合計（D＋E＋F）	**10, 590, 521**
償還差損益金（G）	**10, 590, 521**

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月28日		資産総額	62,451,678円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	247,783円
				純資産総額	62,203,895円
受益権口数	2,439,217,743口	51,613,374口	△2,387,604,369口	受益権口数	51,613,374口
元本額	2,439,217,743円	51,613,374円	△2,387,604,369円	1単位当り償還金	12,051円89銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	2,154,972,425	2,374,119,423	11,017	350	3.50
第2期	1,726,332,516	1,850,047,265	10,717	300	3.00
第3期	1,370,385,198	1,519,908,567	11,091	350	3.50
第4期	1,001,297,256	1,191,078,417	11,895	450	4.50
第5期	836,631,865	1,010,515,151	12,078	500	5.00
第6期	738,333,001	815,024,634	11,039	350	3.50
第7期	713,649,979	801,428,994	11,230	400	4.00
第8期	702,208,101	621,529,241	8,851	40	0.40
第9期	661,129,655	619,962,415	9,377	40	0.40
第10期	615,636,469	464,570,688	7,546	30	0.30
第11期	572,012,854	459,528,589	8,034	30	0.30
第12期	483,196,703	395,751,020	8,190	30	0.30
第13期	421,285,171	401,691,245	9,535	20	0.20
第14期	403,543,769	421,980,582	10,457	300	3.00
第15期	370,635,597	378,786,231	10,220	0	0.00
第16期	313,595,227	336,132,018	10,719	300	3.00
第17期	284,678,717	296,235,438	10,406	300	3.00
第18期	273,088,231	290,199,867	10,627	350	3.50
第19期	263,838,378	265,065,026	10,046	0	0.00
第20期	252,247,591	265,421,893	10,522	0	0.00
第21期	254,245,237	242,589,113	9,542	0	0.00
第22期	251,326,370	249,561,511	9,930	0	0.00
第23期	219,533,086	203,290,172	9,260	0	0.00

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第24期	168,529,248	144,954,439	8,601	0	0.00
第25期	145,604,889	145,379,581	9,985	0	0.00
第26期	132,753,534	121,600,564	9,160	0	0.00
第27期	133,397,565	114,875,912	8,612	0	0.00
第28期	128,903,331	133,568,075	10,362	0	0.00
第29期	104,576,163	117,764,137	11,261	400	4.00
第30期	98,119,856	125,524,272	12,793	500	5.00
第31期	99,946,446	143,249,323	14,333	500	5.00
第32期	100,748,370	133,302,219	13,231	500	5.00
第33期	92,333,286	112,815,861	12,218	500	5.00
第34期	91,845,942	110,890,957	12,074	400	4.00
第35期	90,462,368	101,573,616	11,228	350	3.50
第36期	85,541,114	93,222,407	10,898	400	4.00
第37期	87,678,151	91,611,374	10,449	300	3.00
第38期	75,071,659	76,895,983	10,243	0	0.00
第39期	74,240,916	77,213,704	10,400	0	0.00

（注）1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	12,051円89銭

ブラジル・レアル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数(税引後配当込み、米ドルベース)		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
31期末(2021年5月28日)	10,010	30	23.1	28,443	10.5	20.9861	10.4	—	97.4	220
32期末(2021年8月30日)	10,293	70	3.5	30,605	7.6	21.0814	0.5	—	96.6	206
33期末(2021年11月29日)	9,428	130	△ 7.1	31,257	2.1	20.3020	△ 3.7	—	97.1	129
34期末(2022年2月28日)	10,355	220	12.2	29,904	△ 4.3	22.4213	10.4	—	97.5	195
35期末(2022年5月30日)	10,878	300	7.9	28,438	△ 4.9	26.8460	19.7	—	97.9	185
36期末(2022年8月29日)	10,405	350	△ 1.1	27,827	△ 2.1	27.3104	1.7	—	98.1	175
37期末(2022年11月28日)	10,114	190	△ 1.0	27,697	△ 0.5	25.7572	△ 5.7	—	97.0	170
38期末(2023年2月28日)	10,206	300	3.9	27,481	△ 0.8	26.1997	1.7	—	98.0	115
39期末(2023年5月29日)	10,970	350	10.9	29,108	5.9	28.1734	7.5	—	98.5	119
償還(2023年8月28日)	13,076.68	—	19.2	30,577	5.0	30.0554	6.7	—	—	54

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。
(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注6) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注7) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
※参考指数の「S＆P500指数（配当込み、米ドルベース）」を「S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）」に変更しました。

S＆P500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S＆P®、S＆P500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx®およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S＆P」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コースは、SPDJI、Dow Jones、S＆P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S＆P500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

運用経過

基準価額等の推移について

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：13,076円68銭（既払分配金8,260円）
騰落率：191.0%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

設定以来の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことなどが主な要因となり、上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

年　月　日	基準価額		S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		ブラジル・レアル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	円	%	%	%
（期首）2023年5月29日	10,970	—	29,108	—	28.1734	—	—	98.5
5月末	10,851	△ 1.1	29,110	0.0	27.7354	△ 1.6	—	98.3
6月末	12,316	12.3	30,462	4.7	29.8342	5.9	—	99.3
7月末	13,091	19.3	31,770	9.1	29.7838	5.7	—	—
（償還）2023年8月28日	13,076.68	19.2	30,577	5.0	30.0554	6.7	—	—

（注）騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、ＦＲＢの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。８月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やＡＩ（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・レアル対円為替相場は、当ファンド設定時から2014年にかけては方向感のない動きとなりました。2015年に入ると、ブラジルや中国などにおける景気悪化が懸念されたほか、ブラジル国内における汚職問題や政局不安などが悪材料となり、下落しました。2016年以降は、ブラジル国内における政権交代を受けた改革期待や原油価格の上昇が相場を下支えする場面もありましたが、米国金利の上昇を受けて新興国通貨への売り圧力が強まったほか、米中貿易摩擦に対する懸念が高まったことなどが悪材料となり、軟調な推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、さらに下落しました。2021年以降は、景気回復に伴いブラジル中央銀行が段階的に利上げを実施したことや、資源価格の上昇などを受けて、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

■短期金利市況

ブラジル中央銀行は、2015年まで利上げを継続した後、2020年にかけて断続的に利下げを実施しました。その後は、2022年３月にかけて利上げを継続した後、政策金利は13.75％を維持したまま償還期末を迎えました。

一方ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2.25～2.50％に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて0.00～0.25％に引き下げました。2021年末以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受けてインフレ圧力が高まる中、2022年３月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25～5.50％まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）」（※１）と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。

主として、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※２）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行い、信託財産の成長をめざします。

※１　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

※２　当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）をいいます。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて　（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・レアル・クラス）

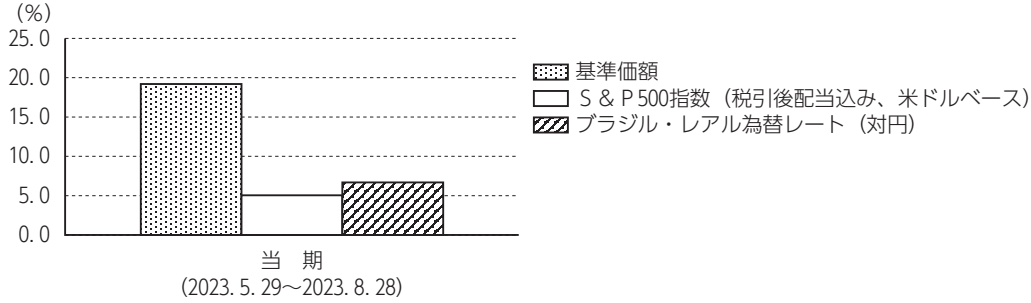
株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

１万口当り、第１期～第２期各400円、第３期450円、第４期～第５期各500円、第６期400円、第７期350円、第８期～第９期各270円、第10期～第11期各200円、第12期～第13期各250円、第14期300円、第15期220円、第16期～第18期各300円、第19期70円、第20期90円、第21期60円、第22期～第23期各50円、第24期～第25期各40円、第26期20円、第27期30円、第28期10円、第31期30円、第32期70円、第33期130円、第34期220円、第35期300円、第36期350円、第37期190円、第38期300円、第39期350円の収益分配を行いました。

なお、第29期～第30期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

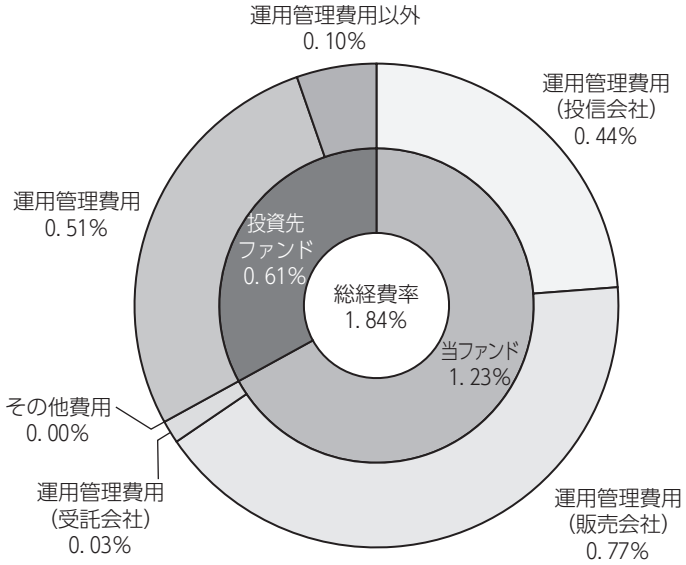
項　　目	当　期 (2023. 5. 30～2023. 8. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	38円	0. 308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は12, 414円です。**
(投 信 会 社)	(14)	(0. 109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0. 191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合　　計	38	0. 308	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.84%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	—	—	1,106.27133	140,926

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	300	300

（注）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS（ケイマン諸島）	1,106.27133	140,926	127

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	第39期末
	口数
	千口
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	300

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年８月28日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	54,598	100.0
投資信託財産総額	54,598	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 8 月28日現在

項　　目	償　還　時
（A）資産	**54, 598, 755円**
コール・ローン等	54, 598, 755
（B）負債	**345, 379**
未払信託報酬	345, 293
未払利息	86
（C）純資産総額（A－B）	**54, 253, 376**
元本	41, 488, 662
償還差損益金	12, 764, 714
（D）受益権総口数	**41, 488, 662口**
１万口当り償還価額（C／D）	**13, 076円68銭**

＊当作成期首における元本額は109, 239, 206円、当作成期間中における追加設定元本額は297, 589円、同解約元本額は68, 048, 133円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は13, 076円68銭です。

■損益の状況

当期　自 2023年 5 月30日　至 2023年 8 月28日

項　　目	当　　期
（A）配当等収益	△ **3, 643円**
受取利息	1, 623
支払利息	△ 5, 266
（B）有価証券売買損益	**9, 087, 294**
売買益	10, 683, 583
売買損	△ 1, 596, 289
（C）信託報酬等	△ **345, 293**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**8, 738, 358**
（E）前期繰越損益金	**3, 146, 670**
（F）追加信託差損益金	**879, 686**
（配当等相当額）	(10, 508, 673)
（売買損益相当額）	(△ 9, 628, 987)
（G）合計（D＋E＋F）	**12, 764, 714**
償還差損益金（G）	**12, 764, 714**

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月28日		資産総額	54,598,755円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	345,379円
				純資産総額	54,253,376円
受益権口数	3,574,462,257口	41,488,662口	△3,532,973,595口	受益権口数	41,488,662口
元本額	3,574,462,257円	41,488,662円	△3,532,973,595円	1単位当り償還金	13,076円68銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	3,167,919,018	3,643,985,161	11,503	400	4.00
第2期	2,552,155,495	2,890,640,795	11,326	400	4.00
第3期	2,229,841,548	2,673,204,778	11,988	450	4.50
第4期	1,849,621,500	2,368,766,806	12,807	500	5.00
第5期	1,748,495,502	2,286,352,117	13,076	500	5.00
第6期	1,542,328,142	1,800,395,618	11,673	400	4.00
第7期	1,417,448,674	1,577,997,551	11,133	350	3.50
第8期	1,279,715,349	1,079,514,217	8,436	270	2.70
第9期	1,156,501,502	960,648,539	8,307	270	2.70
第10期	1,075,302,981	678,051,486	6,306	200	2.00
第11期	1,032,213,489	757,794,504	7,341	200	2.00
第12期	926,987,824	730,812,494	7,884	250	2.50
第13期	820,466,588	727,047,140	8,861	250	2.50
第14期	950,957,873	1,000,186,326	10,518	300	3.00
第15期	943,723,513	952,926,115	10,098	220	2.20
第16期	763,248,203	800,138,696	10,483	300	3.00
第17期	692,326,133	725,282,425	10,476	300	3.00
第18期	657,190,130	686,095,774	10,440	300	3.00
第19期	525,945,712	477,008,167	9,070	70	0.70
第20期	464,172,859	409,143,475	8,814	90	0.90
第21期	400,959,949	341,335,608	8,513	60	0.60
第22期	346,492,163	323,128,005	9,326	50	0.50
第23期	332,588,615	276,793,019	8,322	50	0.50

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第24期	306, 742, 280	236, 527, 733	7, 711	40	0. 40
第25期	332, 645, 192	292, 344, 313	8, 788	40	0. 40
第26期	292, 267, 742	231, 641, 260	7, 926	20	0. 20
第27期	278, 924, 635	175, 115, 619	6, 278	30	0. 30
第28期	252, 597, 313	165, 547, 925	6, 554	10	0. 10
第29期	245, 189, 506	184, 932, 073	7, 542	0	0. 00
第30期	231, 198, 038	188, 619, 118	8, 158	0	0. 00
第31期	220, 207, 287	220, 419, 370	10, 010	30	0. 30
第32期	200, 849, 050	206, 724, 237	10, 293	70	0. 70
第33期	137, 094, 138	129, 255, 550	9, 428	130	1. 30
第34期	188, 829, 781	195, 536, 348	10, 355	220	2. 20
第35期	170, 222, 995	185, 175, 622	10, 878	300	3. 00
第36期	168, 231, 884	175, 037, 788	10, 405	350	3. 50
第37期	168, 700, 189	170, 624, 824	10, 114	190	1. 90
第38期	113, 575, 869	115, 917, 460	10, 206	300	3. 00
第39期	109, 239, 206	119, 840, 612	10, 970	350	3. 50

（注）1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	13, 076円68銭

米ドル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（税引後配当込み、円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
31期末（2021年５月28日）	13,462	500	16.1	32,012	14.1	—	99.0	3,110
32期末（2021年８月30日）	13,222	500	1.9	34,373	7.4	—	99.0	2,962
33期末（2021年11月29日）	12,510	500	△ 1.6	36,395	5.9	—	99.0	2,765
34期末（2022年２月28日）	12,186	450	1.0	35,363	△ 2.8	—	98.6	2,620
35期末（2022年５月30日）	11,519	400	△ 2.2	36,968	4.5	—	98.2	2,460
36期末（2022年８月29日）	11,550	450	4.2	39,399	6.6	—	98.6	2,431
37期末（2022年11月28日）	11,433	400	2.5	39,430	0.1	—	98.2	2,266
38期末（2023年２月28日）	10,980	350	△ 0.9	38,343	△ 2.8	—	97.8	2,063
39期末（2023年５月29日）	11,220	350	5.4	41,935	9.4	—	98.8	2,064
償　還（2023年８月28日）	12,614.63	—	12.4	45,861	9.4	—	—	1,285

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、円換算）は、Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
※参考指数を「Ｓ＆Ｐ500指数（配当込み、円換算）」から「Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、円換算）」に変更しました。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx®およびCDX®は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　米ドル・コースは、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

運用経過

基準価額等の推移について

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：12,614円63銭（既払分配金11,650円）
騰落率：243.3%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

設定以来の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことや、米ドル高円安の進行などが主な要因となり、上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

年　　月　　日	基準価額		S＆P500指数（税引後配当込み、円換算）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2023年5月29日	11,220	—	41,935	—	—	98.8
5月末	11,197	△ 0.2	41,640	△ 0.7	—	98.1
6月末	12,187	8.6	45,202	7.8	—	99.3
7月末	12,628	12.5	45,836	9.3	—	—
（償還）2023年8月28日	12,614.63	12.4	45,861	9.4	—	—

（注）騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、ＦＲＢの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。８月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やＡＩ（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当ファンド設定時から2015年中旬にかけて、日銀の量的・質的金融緩和政策の拡大などが材料視され、上昇しました。その後は、日銀がマイナス金利の導入をしたものの、英国のＥＵ（欧州連合）離脱や米中貿易摩擦を背景にリスク回避の動きが広まったことから、2019年末にかけて米ドルは対円で下落（円高）しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からリスク回避の動きが広まるなど、一時円買いの動きから下落基調で推移する場面も見られました。しかし、米国では金融政策正常化が意識されたことから米国金利が上昇した一方で、日銀は金利上昇を抑制する姿勢を示したことから、日米の金融政策の相違が意識され、急速に上昇しました。2022年10月以降は、米国の利上げペース減速観測や、12月に日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の長期金利の上限引き上げを実施したことなどから、米ドルは対円でいったん下落したものの、償還期末にかけては、米国金利の上昇に伴い再び反発しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」（※１）と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。

主として、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※２）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。

※１　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

※２　当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）をいいます。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて （2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」（※１）と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

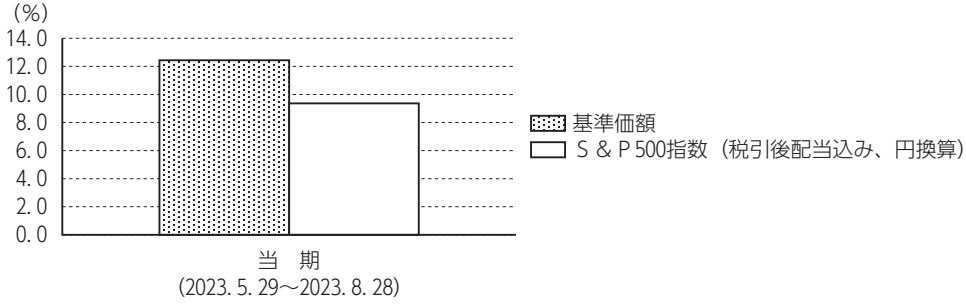
株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期～第2期各350円、第3期300円、第4期400円、第5期～第7期各500円、第9期350円、第13期300円、第14期400円、第15期～第18期各350円、第19期～第20期各300円、第25期350円、第26期300円、第28期300円、第29期350円、第30期～第33期各500円、第34期450円、第35期400円、第36期450円、第37期400円、第38期～第39期各350円の収益分配を行いました。

なお、第8期、第10期～第12期、第21期～第24期、第27期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

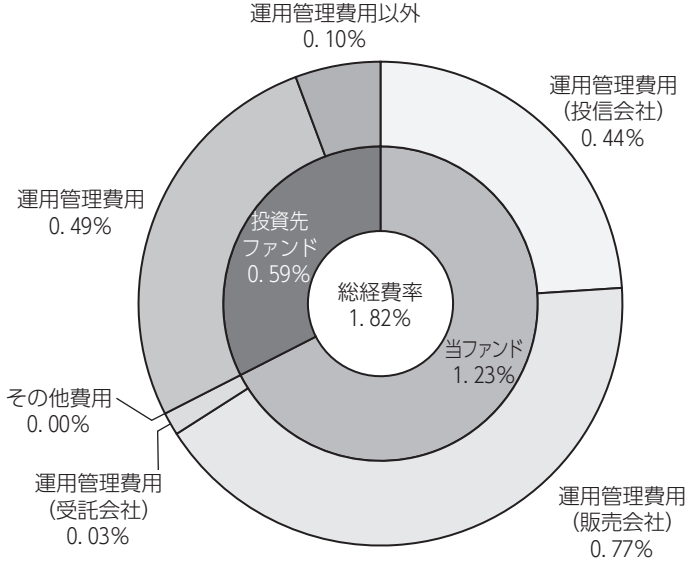
項　目	当　期 (2023. 5. 30～2023. 8. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	37円	0. 308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は12, 152円です。**
(投 信 会 社)	(13)	(0. 109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0. 191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合　　計	37	0. 308	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	38.07915	11,000	7,044.02743	2,297,518

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	1,999	1,999

（注）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	38.07915	11,000	288	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS（ケイマン諸島）	7,044.02743	2,297,518	326

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	第39期末
	口数
	千口
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	1,999

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年８月28日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,309,397	100.0
投資信託財産総額	1,309,397	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 8 月28日現在

項　　目	償　還　時
(A)資産	**1, 309, 397, 215円**
コール・ローン等	1, 309, 397, 215
(B)負債	**24, 033, 111**
未払解約金	18, 203, 145
未払信託報酬	5, 827, 887
未払利息	2, 079
(C)純資産総額（A－B）	**1, 285, 364, 104**
元本	1, 018, 947, 459
償還差損益金	266, 416, 645
(D)受益権総口数	**1, 018, 947, 459口**
1万口当り償還価額（C／D）	**12, 614円63銭**

＊当作成期首における元本額は1, 840, 052, 528円、当作成期間中における追加設定元本額は12, 627, 001円、同解約元本額は833, 732, 070円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は12, 614円63銭です。

■損益の状況

当期　自 2023年 5 月30日　至 2023年 8 月28日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	△ **79, 183円**
受取利息	16, 773
支払利息	△ 95, 956
(B)有価証券売買損益	**147, 966, 861**
売買益	158, 446, 964
売買損	△ 10, 480, 103
(C)信託報酬等	△ **5, 827, 887**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**142, 059, 791**
(E)前期繰越損益金	**67, 351, 143**
(F)追加信託差損益金	**57, 005, 711**
(配当等相当額)	(68, 158, 485)
(売買損益相当額)	(△ 11, 152, 774)
(G)合計（D＋E＋F）	**266, 416, 645**
償還差損益金（G）	**266, 416, 645**

(注１) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注２) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年8月28日		資産総額	1,309,397,215円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	24,033,111円
				純資産総額	1,285,364,104円
受益権口数	20,298,763,257口	1,018,947,459口	△19,279,815,798口	受益権口数	1,018,947,459口
元本額	20,298,763,257円	1,018,947,459円	△19,279,815,798円	1単位当り償還金	12,614円63銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	20,557,581,663	22,558,321,454	10,973	350	3.50
第2期	17,107,514,783	18,358,550,816	10,731	350	3.50
第3期	14,830,725,443	15,913,626,936	10,730	300	3.00
第4期	12,897,872,382	14,655,461,272	11,363	400	4.00
第5期	11,821,679,371	14,844,063,377	12,557	500	5.00
第6期	11,263,509,757	13,931,894,425	12,369	500	5.00
第7期	10,381,670,832	13,134,289,357	12,651	500	5.00
第8期	9,814,431,781	10,530,542,149	10,730	0	0.00
第9期	8,954,808,133	9,830,595,468	10,978	350	3.50
第10期	8,403,184,744	7,484,963,355	8,907	0	0.00
第11期	7,727,761,351	7,338,049,901	9,496	0	0.00
第12期	6,997,039,882	6,396,632,232	9,142	0	0.00
第13期	6,117,517,168	6,526,906,602	10,669	300	3.00
第14期	5,759,308,355	6,453,501,408	11,205	400	4.00
第15期	5,372,287,201	5,874,754,631	10,935	350	3.50
第16期	4,801,785,886	5,145,591,069	10,716	350	3.50
第17期	4,485,170,270	4,840,550,696	10,792	350	3.50
第18期	4,410,083,251	4,747,362,373	10,765	350	3.50
第19期	4,389,156,585	4,489,737,261	10,229	300	3.00
第20期	4,389,270,078	4,708,658,335	10,728	300	3.00
第21期	4,305,790,053	4,264,546,681	9,904	0	0.00
第22期	3,915,962,836	4,100,449,303	10,471	0	0.00
第23期	3,443,152,444	3,480,359,474	10,108	0	0.00

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第24期	3,205,196,715	3,091,728,226	9,646	0	0.00
第25期	2,976,732,460	3,230,305,627	10,852	350	3.50
第26期	2,797,511,042	2,799,666,588	10,008	300	3.00
第27期	2,710,651,900	2,605,406,031	9,612	0	0.00
第28期	2,586,475,397	2,665,587,519	10,306	300	3.00
第29期	2,592,341,644	2,868,202,482	11,064	350	3.50
第30期	2,446,375,833	2,941,294,175	12,023	500	5.00
第31期	2,310,765,463	3,110,653,606	13,462	500	5.00
第32期	2,240,632,353	2,962,642,202	13,222	500	5.00
第33期	2,210,267,067	2,765,043,229	12,510	500	5.00
第34期	2,150,556,172	2,620,748,523	12,186	450	4.50
第35期	2,136,019,805	2,460,414,427	11,519	400	4.00
第36期	2,105,277,081	2,431,698,245	11,550	450	4.50
第37期	1,982,300,886	2,266,318,289	11,433	400	4.00
第38期	1,878,909,485	2,063,097,647	10,980	350	3.50
第39期	1,840,052,528	2,064,620,884	11,220	350	3.50

（注）1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	12,614円63銭

通貨セレクト・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
31期末（2021年５月28日）	10,880	350	16.6	28,443	10.5	—	99.0	752
32期末（2021年８月30日）	10,927	350	3.6	30,605	7.6	—	98.5	737
33期末（2021年11月29日）	9,553	180	△ 10.9	31,257	2.1	—	96.6	627
34期末（2022年２月28日）	9,421	170	0.4	29,904	△ 4.3	—	97.5	618
35期末（2022年５月30日）	8,688	100	△ 6.7	28,438	△ 4.9	—	99.0	569
36期末（2022年８月29日）	8,610	170	1.1	27,827	△ 2.1	—	98.9	565
37期末（2022年11月28日）	8,993	140	6.1	27,697	△ 0.5	—	98.9	554
38期末（2023年２月28日）	9,248	120	4.2	27,481	△ 0.8	—	99.0	555
39期末（2023年５月29日）	10,217	140	12.0	29,108	5.9	—	97.4	601
償　還（2023年８月28日）	11,150.49	—	9.1	30,577	5.0	—	—	421

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
※参考指数を「Ｓ＆Ｐ500指数（配当込み、米ドルベース）」から「Ｓ＆Ｐ500指数（税引後配当込み、米ドルベース）」に変更しました。

Ｓ＆Ｐ500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。Ｓ＆Ｐ®、Ｓ＆Ｐ500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx® およびCDX® は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「Ｓ＆Ｐ」）の商標です。Dow Jones® は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJIに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　通貨セレクト・コースは、SPDJI、Dow Jones、Ｓ＆Ｐ、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

運用経過

基準価額等の推移について

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：11,150円49銭（既払分配金7,450円）
騰落率：144.7%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

設定以来の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことなどが主な要因となり、上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

年　　月　　日	基準価額		S＆P500指数（税引後配当込み、米ドルベース）		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2023年5月29日	10,217	—	29,108	—	—	97.4
5月末	10,126	△ 0.9	29,110	0.0	—	97.0
6月末	10,770	5.4	30,462	4.7	—	99.1
7月末	11,162	9.2	31,770	9.1	—	—
（償還）2023年8月28日	11,150.49	9.1	30,577	5.0	—	—

（注）騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、ＦＲＢの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。８月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やＡＩ（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■為替相場

選定通貨（※）は、個別国要因などを背景に対円でまちまちな動きとなりました。

主な選定通貨の為替相場は、モディ政権による構造改革期待などが好感されたインド・ルピーや、当局による通貨安誘導が後退した中国・人民元などは対円で上昇（円安）しました。一方で、ロシアと欧米との関係悪化が嫌気されたロシア・ルーブルや、中央銀行に対する信認低下が懸念されたトルコ・リラなどは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

一方ＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2. 25～2. 50％に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け0. 00～0. 25％に引き下げました。2021年末以降は、中国

での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受け、インフレ圧力が高まる中、2022年３月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25～5.50％まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」（※１）と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資します。

主として、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※２）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行い、信託財産の成長をめざします。

※１　ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラスト－ ダイワ／ハリス ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

※２　当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、ＤＲ（預託証券）を含みます。）をいいます。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて （2013. 8. 20 ～ 2023. 8. 28）

■当ファンド

当ファンドは、「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95％程度以上とすることをめざしました。

■ＵＳ コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

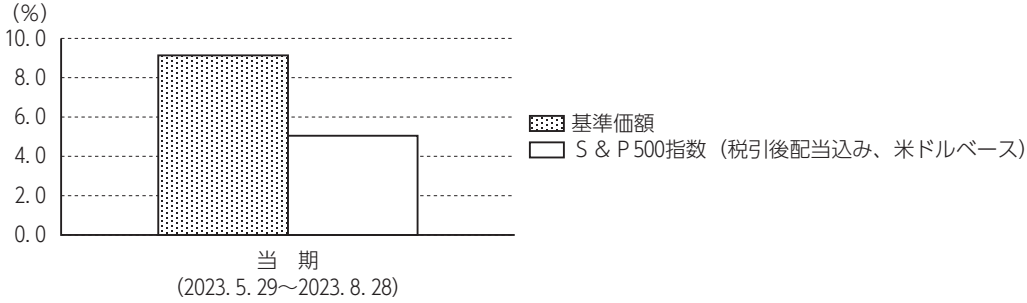
株式組入比率をおおむね90％以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息収入）収益が享受できる６通貨を毎月選定し、運用を行いました。当ファンド設定日以降、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、中国・人民元、豪ドル、ニュージーランド・ドル、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、トルコ・リラ、ルーマニア・レイ、ブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、コロンビア・ペソ、チリ・ペソ、ハンガリー・フォリント、チェコ・コルナ、ポーランド・ズロチを選定通貨に組み入れました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100％を維持しました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期350円、第2期300円、第3期350円、第4期～第5期各450円、第6期350円、第7期300円、第8期～第9期各180円、第10期150円、第11期110円、第12期120円、第13期130円、第14期160円、第15期130円、第16期140円、第17期130円、第18期120円、第19期100円、第20期～第22期各140円、第23期150円、第24期140円、第25期120円、第26期80円、第27期120円、第28期80円、第29期120円、第30期300円、第31期～第32期各350円、第33期180円、第34期170円、第35期100円、第36期170円、第37期140円、第38期120円、第39期140円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

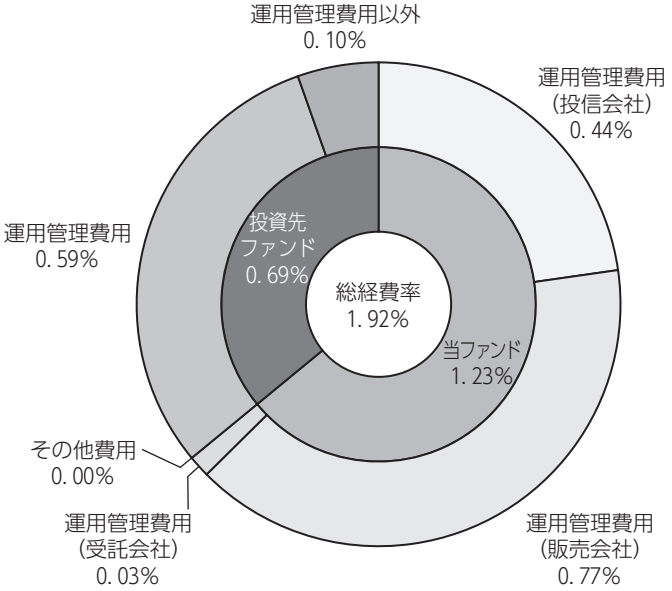
項　目	当　期 (2023. 5. 30～2023. 8. 28)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	33円	0. 307%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 820円です。**
(投 信 会 社)	(12)	(0. 109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0. 191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合　　計	33	0. 307	

(注１) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
(注２) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
(注３) 各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
(注４) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	91.45877	9,000	5,881.71848	650,037

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	505	506

（注）単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2023年５月30日から2023年８月28日まで)

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS（ケイマン諸島）	91.45877	9,000	98	US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS（ケイマン諸島）	5,881.71848	650,037	110

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	第39期末
	口数
	千口
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	505

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年８月28日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	426,141	100.0
投資信託財産総額	426,141	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年 8 月28日現在

項　　目	償　還　時
（A）資産	**426, 141, 904円**
コール・ローン等	426, 141, 904
（B）負債	**4, 853, 823**
未払解約金	3, 086, 468
未払信託報酬	1, 766, 679
未払利息	676
（C）純資産総額（A－B）	**421, 288, 081**
元本	377, 820, 171
償還差損益金	43, 467, 910
（D）受益権総口数	**377, 820, 171口**
１万口当り償還価額（C／D）	**11, 150円49銭**

＊当作成期首における元本額は588, 383, 624円、当作成期間中における追加設定元本額は2, 210, 162円、同解約元本額は212, 773, 615円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は11, 150円49銭です。

■損益の状況

当期　自 2023年 5 月30日　至 2023年 8 月28日

項　　目	当　　期
（A）配当等収益	△ **25, 536円**
受取利息	4, 431
支払利息	△ 29, 967
（B）有価証券売買損益	**37, 045, 932**
売買益	39, 629, 190
売買損	△ 2, 583, 258
（C）信託報酬等	△ **1, 766, 679**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**35, 253, 717**
（E）前期繰越損益金	**12, 783, 243**
（F）追加信託差損益金	△ **4, 569, 050**
（配当等相当額）	(13, 759, 450)
（売買損益相当額）	(△ 18, 328, 500)
（G）合計（D＋E＋F）	**43, 467, 910**
償還差損益金（G）	**43, 467, 910**

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年８月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年８月28日		資産総額	426,141,904円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	4,853,823円
				純資産総額	421,288,081円
受益権口数	12,138,849,047口	377,820,171口	△11,761,028,876口	受益権口数	377,820,171口
元本額	12,138,849,047円	377,820,171円	△11,761,028,876円	１単位当り償還金	11,150円49銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第１期	11,162,622,133	12,333,666,809	11,049	350	3.50
第２期	9,102,348,231	9,539,344,639	10,480	300	3.00
第３期	7,033,785,592	7,789,244,682	11,074	350	3.50
第４期	5,710,036,911	6,628,904,557	11,609	450	4.50
第５期	5,048,822,706	6,019,115,928	11,922	450	4.50
第６期	4,869,007,212	5,178,360,624	10,635	350	3.50
第７期	4,524,148,073	4,808,097,454	10,628	300	3.00
第８期	4,258,331,895	3,482,378,063	8,178	180	1.80
第９期	3,875,576,048	3,277,009,490	8,456	180	1.80
第10期	3,699,988,742	2,393,523,152	6,469	150	1.50
第11期	3,529,825,949	2,467,744,432	6,991	110	1.10
第12期	3,108,121,642	2,154,210,225	6,931	120	1.20
第13期	2,573,681,999	1,970,637,550	7,657	130	1.30
第14期	2,353,862,187	2,042,489,127	8,677	160	1.60
第15期	2,036,609,523	1,784,737,408	8,763	130	1.30
第16期	1,853,595,239	1,657,261,143	8,941	140	1.40
第17期	1,670,092,104	1,497,123,921	8,964	130	1.30
第18期	1,591,462,554	1,481,535,980	9,309	120	1.20
第19期	1,492,490,621	1,239,170,877	8,303	100	1.00
第20期	1,413,458,519	1,168,137,219	8,264	140	1.40
第21期	1,376,203,920	1,059,634,903	7,700	140	1.40
第22期	1,262,401,408	1,048,059,561	8,302	140	1.40
第23期	1,215,326,534	951,287,710	7,827	150	1.50

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第24期	1,079,087,584	799,070,482	7,405	140	1.40
第25期	1,032,350,689	896,971,692	8,689	120	1.20
第26期	986,183,159	799,438,984	8,106	80	0.80
第27期	957,932,760	679,312,946	7,091	120	1.20
第28期	948,010,201	733,485,922	7,737	80	0.80
第29期	784,507,568	672,722,900	8,575	120	1.20
第30期	747,455,811	720,149,829	9,635	300	3.00
第31期	691,322,009	752,153,505	10,880	350	3.50
第32期	675,084,741	737,670,283	10,927	350	3.50
第33期	656,828,151	627,443,344	9,553	180	1.80
第34期	656,356,770	618,374,882	9,421	170	1.70
第35期	655,854,099	569,805,276	8,688	100	1.00
第36期	656,671,872	565,418,178	8,610	170	1.70
第37期	617,142,869	554,974,396	8,993	140	1.40
第38期	601,143,227	555,967,266	9,248	120	1.20
第39期	588,383,624	601,175,714	10,217	140	1.40

（注）1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	11,150円49銭

ＵＳ　コンセントレイテッド・ケイマン
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド －イーグルアイⅡ－ 予想分配金提示型　日本円・コース／豪ドル・コース／ブラジル・レアル・コース／米ドル・コース／通貨セレクト・コース）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス　US　コンセントレイテッド・ケイマン　日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

（米ドル建て）

貸借対照表
2022年５月31日

資産		
投資資産の評価額（簿価 $26, 511, 933）	$	28, 348, 809
現金		279
外国為替先渡取引による評価益		358, 297
未収：		
売却済みの投資		98, 686
受益証券の発行		404, 213
配当		15, 908
資産合計		29, 226, 192
負債		
外国為替先渡取引による評価損		66, 597
カウンターパーティへの預託金（外国為替先渡取引用）		260, 000
未払：		
購入済みの投資		932, 605
専門家報酬		85, 500
運用会社報酬		13, 554
会計および管理会社報酬		3, 206
保管会社報酬		2, 767
名義書換代理人報酬		995
為替運用会社報酬		648
為替取引執行会社報酬		152
負債合計		1, 366, 024
純資産	$	27, 860, 168
豪ドル・クラス	$	799, 091
ブラジル・レアル・クラス		1, 447, 074
通貨セレクト・クラス		4, 469, 851
日本円・クラス		1, 874, 812
米ドル・クラス		19, 269, 340
	$	27, 860, 168

発行済み受益証券口数		
豪ドル・クラス		569, 107
ブラジル・レアル・クラス		1, 796, 563
通貨セレクト・クラス		6, 607, 002
日本円・クラス		1, 243, 445
米ドル・クラス		9, 427, 318
受益証券１口当り純資産額		
豪ドル・クラス	$	1. 404
ブラジル・レアル・クラス	$	0. 805
通貨セレクト・クラス	$	0. 677
日本円・クラス	$	1. 508
米ドル・クラス	$	2. 044

損益計算書

2022年５月31日に終了した年度

投資収益		
配当収益（源泉税 $86, 829控除後）	$	203, 355
受取利息		506
投資収益合計		203, 861
費用		
運用会社報酬		206, 699
専門家報酬		53, 249
会計および管理会社報酬		45, 001
保管会社報酬		19, 720
為替運用会社報酬		10, 269
受託会社報酬		8, 605
名義書換代理人報酬		7, 071
登録料		1, 879
為替取引執行会社報酬		1, 096
費用合計		353, 589
投資損失		(149, 728)
実現損益および評価損益：		
実現損益：		
証券投資		5, 981, 379
外国為替取引および外国為替先渡取引		(1, 302, 972)
実現利益		4, 678, 407
評価損益の変動：		
証券投資		(10, 385, 164)
外国為替換算および外国為替先渡取引		309, 270
評価損益の変動		(10, 075, 894)
実現損益および評価損益の変動		(5, 397, 487)
運用による純資産の減少	$	(5, 547, 215)

（米ドル建て）

投資明細表

2022年５月31日

株数	証券の明細	対純資産比	評価額
	普通株（97.2%）		
	英国（6.7%）		
	ヘルスケア製品（2.5%）		
10,394	LivaNova PLC		$ 707,520
	保険（4.2%）		
5,490	Willis Towers Watson PLC		1,158,774
	英国合計（簿価 $1,956,684）		1,866,294
	米国（90.5%）		
	自動車部品（3.2%）		
6,375	Lear Corp.		898,620
	銀行（5.6%）		
22,130	Bank of America Corp.		823,236
13,670	Citigroup, Inc.		730,115
			1,553,351
	飲料（5.0%）		
40,060	Keurig Dr Pepper, Inc.		1,391,684
	商業サービス（3.3%）		
10,205	ManpowerGroup, Inc.		914,470
	総合金融サービス（12.2%）		
1,410	BlackRock, Inc. Class A		943,403
18,180	Charles Schwab Corp.		1,274,418
1,705	Mastercard, Inc. Class A		610,168
2,750	Visa, Inc. Class A		583,468
			3,411,457
	ヘルスケアサービス（4.5%）		
5,967	HCA Healthcare, Inc.		1,255,457
	保険（4.4%）		
21,025	American International Group, Inc.		1,233,747
	インターネット（22.7%）		
903	Alphabet, Inc. Class A		2,054,542
711	Amazon.com, Inc.		1,709,379
543	Booking Holdings, Inc.		1,218,253
4,270	Facebook, Inc. Class A		826,843
2,560	Netflix, Inc.		505,446
			6,314,463
	宿泊施設（2.2%）		
4,339	Hilton Worldwide Holdings, Inc.		611,192
	メディア（6.3%）		
3,483	Charter Communications, Inc. Class A		1,765,637
	石油・ガスサービス（0.9%）		
13,025	NOV, Inc.		260,500
	未公開株（2.9%）		
14,632	KKR & Co., Inc. Class Miscella		801,980
	不動産（4.5%）		
15,080	CBRE Group, Inc. Class A		1,249,227

	株数	証券の明細	対純資産比	評価額
		小売（3.8%）		
	56,295	Wendy's Co.		1,049,339
		ソフトウェア（9.0%）		
	24,940	Fiserv, Inc.		2,498,489
		米国合計（簿価 $23,282,347）		25,209,613
		普通株合計（簿価 $25,239,031）		**$ 27,075,907**
	元本	**短期運用（4.6%）**		
		英国（4.6%）		
		定期預金 （4.6%）		
		Barclays Bank		
USD	1,272,902	0.40% due 06/01/22		$ 1,272,902
				1,272,902
		英国合計（簿価 $1,272,902）		1,272,902
		短期運用合計（簿価 $1,272,902）		**1,272,902**
		投資総額（簿価 $26,511,933）	**101.8%**	**$ 28,348,809**
		現金およびその他の資産を超過する負債	**(1.8)**	**(488,641)**
		純資産	**100.0%**	**$ 27,860,168**

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2022年5月31日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
AUD	Citibank NA	1,262,091	06/14/2022	USD	864,210	$ 41,315	$ –	$ 41,315
USD	Citibank NA	128,683	06/14/2022	AUD	188,060	–	(6,247)	(6,247)
						$ 41,315	$ (6,247)	$ 35,068

2022年5月31日現在のブラジル・レアル・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
BRL	Citibank NA	7,038,792	06/14/2022	USD	1,347,579	$ 132,574	$ –	$ 132,574
BRL	Citibank NA	509,359	06/14/2022	USD	107,124	–	(13)	(13)
USD	Citibank NA	140,615	06/14/2022	BRL	683,209	–	(3,055)	(3,055)
						$ 132,574	$ (3,068)	$ 129,506

2022年5月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
BRL	Citibank NA	3,222,915	06/14/2022	USD	617,028	$ 60,702	$ –	$ 60,702
CLP	Citibank NA	480,946,983	06/14/2022	USD	551,152	31,855	–	31,855
COP	Citibank NA	2,149,335,162	06/14/2022	USD	520,534	47,752	–	47,752
MXN	Citibank NA	13,356,980	06/14/2022	USD	651,166	24,755	–	24,755
RON	Citibank NA	2,786,110	06/14/2022	USD	583,536	19,021	–	19,021
TRY	Citibank NA	20,537,397	06/14/2022	USD	1,275,357	–	(40,857)	(40,857)
						$ 184,085	$ (40,857)	$ 143,228

2022年５月31日現在の日本円・クラスの外国為替先渡取引

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価（損）	評価益／（損）
ＪＰＹ	Citibank NA	240, 518, 954	06/14/2022	ＵＳＤ	1, 886, 871	$ –	$ (16, 425)	$ (16, 425)
ＪＰＹ	Citibank NA	13, 068, 523	06/14/2022	ＵＳＤ	101, 602	28	–	28
ＵＳＤ	Citibank NA	95, 280	06/14/2022	ＪＰＹ	12, 213, 963	295	–	295
						$ 323	$ (16, 425)	$ (16, 102)

通貨の略称

ＡＵＤ	-	豪ドル
ＢＲＬ	-	ブラジル・レアル
ＣＬＰ	-	チリ・ペソ
ＣＯＰ	-	コロンビア・ペソ
ＪＰＹ	-	日本・円
ＭＸＮ	-	メキシコ・ペソ
ＲＯＮ	-	ルーマニア・レイ
ＴＲＹ	-	トルコ・リラ
ＵＳＤ	-	米ドル

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第13期（決算日　2022年12月９日）

（作成対象期間　2021年12月10日～2022年12月９日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

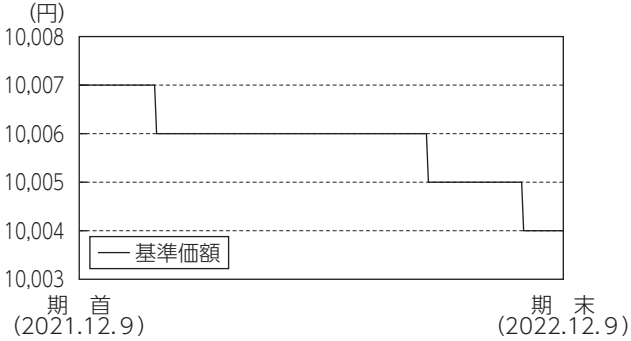
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10％以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年　月　日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2021年12月9日	10,007	－	－
12月末	10,007	0.0	－
2022年 1 月末	10,007	0.0	－
2 月末	10,006	△0.0	－
3 月末	10,006	△0.0	－
4 月末	10,006	△0.0	－
5 月末	10,006	△0.0	－
6 月末	10,006	△0.0	－
7 月末	10,006	△0.0	－
8 月末	10,005	△0.0	－
9 月末	10,005	△0.0	－
10月末	10,005	△0.0	－
11月末	10,004	△0.0	－
(期末)2022年12月9日	10,004	△0.0	－

(注１) 騰落率は期首比。
(注２) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注３) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,007円　期末：10,004円　騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（３カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■１万口当りの費用の明細

項　目	当　期
売買委託手数料	－円
有価証券取引税	－
その他費用	－
合　計	－

(注１) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注２) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月９日現在

項　目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	159,157,999	100.0
投資信託財産総額	159,157,999	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月９日現在

項　　目	当　期　末
(A) 資産	**159,157,999,197円**
コール・ローン等	159,157,999,197
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**159,157,999,197**
元本	159,095,941,234
次期繰越損益金	62,057,963
(D) 受益権総口数	**159,095,941,234口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,004円**

＊期首における元本額は147,676,216,454円、当作成期間中における追加設定元本額は146,804,060,770円、同解約元本額は135,384,335,990円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－	947,268円
ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　－インドの匠－	29,910,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）	998円
ＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）	102,434円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（為替ヘッジあり）	39,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）－ロボテック（年１回）－（為替ヘッジあり）	3,985円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500	10,791,948,720円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　ＮＡＳＤＡＱ100	75,953,937,119円
クリーンテック株式ファンド（資産成長型）	998,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　－ロボテック－（毎月決算／予想分配金提示型）	999円
世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／毎月分配型）	1,000円
世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	499,501円
ダイワ上場投信－日経平均レバレッジ・インデックス	4,236,015,061円
ダイワ上場投信－日経平均ダブルインバース・インデックス	6,234,269,565円
ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数	1,010,016,980円
ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸダブルインバース（－２倍）指数	926,363,625円
ダイワ上場投信－日経平均インバース・インデックス	7,290,053,955円
ダイワ上場投信－ＴＯＰＩＸインバース（－１倍）指数	12,970,925,555円
ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400レバレッジ・インデックス	538,317,221円
ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400インバース・インデックス	151,994,519円
ダイワ上場投信－ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス	107,919,373円
ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－07	997円
ダイワ米国投資法人債ファンド（為替ヘッジあり）2016－10	997円
先進国トータルリターン戦略ファンド（リスク抑制型／適格機関投資家専用）	207,414,601円
ダイワ日本株式ベア・ファンド（適格機関投資家専用）	45,188,231円
ダイワ日本国債15－20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　－ＳＬトレード－	4,992,083円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ６	19,642,480,283円
ブル３倍日本株ポートフォリオ６	17,085,842,499円
ベア２倍日本株ポートフォリオ６	1,818,361,471円
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	42,615,540円
ダイワＵＳ短期ハイ・イールド社債ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）	9,957円
ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）	997円
ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）	997円
ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド	4,148円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース	10,833円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース	10,788円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース	12,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年１回決算型）　－ロボテック（年１回）－	100,588円
ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	5,813円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）	99,691円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）	398,764円
ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）　－ジャパン・トリプルリターンズ－　通貨セレクト・コース（毎月分配型）	15,402円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイ２－　予想分配金提示型　日本円・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイ２－　予想分配金提示型　豪ドル・コース	200,861円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイ２－　予想分配金提示型　ブラジル・レアル・コース	300,273円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイ２－　予想分配金提示型　米ドル・コース	1,999,177円
通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド　－イーグルアイ２－　予想分配金提示型　通貨セレクト・コース	505,900円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,004円です。

■損益の状況

当期　自2021年12月10日　至2022年12月９日

項　　目	当　期
(A) 配当等収益	**△ 48,809,986円**
支払利息	△ 48,809,986
(B) 当期損益金(A)	**△ 48,809,986**
(C) 前期繰越損益金	**101,772,030**
(D) 解約差損益金	**△ 77,894,524**
(E) 追加信託差損益金	**86,990,443**
(F) 合計(B＋C＋D＋E)	**62,057,963**
次期繰越損益金(F)	**62,057,963**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。